



## 一 感染性胃腸炎：県全体の定点当たり患者報告数は例年と同程度。一

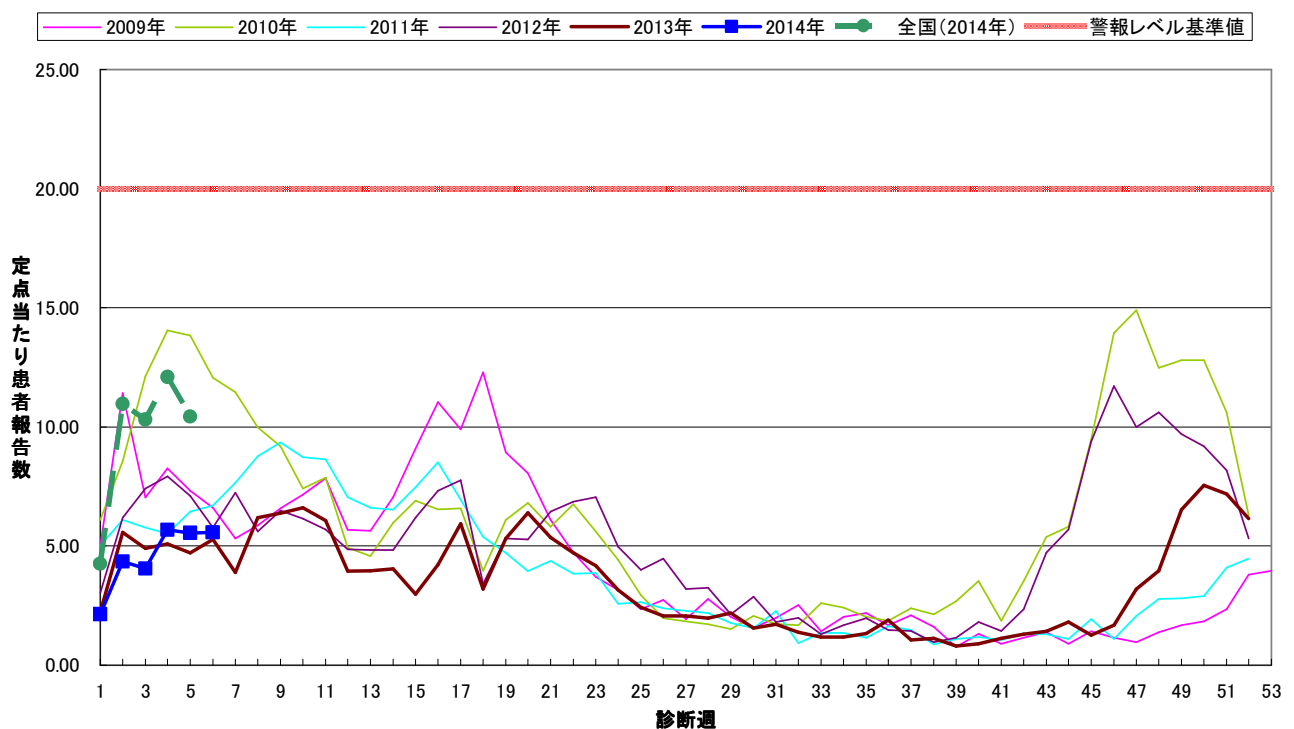
感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は5.58人（前週：5.55人）と横ばいで推移しており、報告数は過去5年間の同時期と比較して同程度です。保健所別では、岩出保健所管内が17.00人（前週：10.75人）と大きく増加し、今シーズン最も多い報告数となっています。

全国における定点当たりの患者報告数は、第5週で10.44人（第4週：12.09人）とやや減少しています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



## 一 その他の感染症 一

RSウイルス感染症：

今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は0.26人（前週：0.68人）と減少しました。

この冬は例年よりも早めに患者報告数が増加し、流行が継続していましたが、2013年第49週以降減少傾向が続いており、流行はほぼ終息したと考えられます。

全国の小児科定点医療機関から報告された患者報告数は、第5週で1860人（第4週：2018人）となっています。

RSウイルス感染症についてはこちら：国立感染症研究所HP

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rs-virus-m/rs-virus-idwrc/3972-idwrc-1336-01.html>

## 風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成を開始しました。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

**助成期間：平成25年5月21日～平成26年3月31日**

### ○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：報告はありませんでした。
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：レジオネラ症1名
- 5類感染症：報告はありませんでした。

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	24
つつが虫病	2
レジオネラ症	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	1

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

インフルエンザ（新宮保健所管内）

#### 注意報レベル

インフルエンザ（和歌山市、岩出、橋本、湯浅、田辺保健所管内）





<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	211	16	147	71	76	29	120	63	9
	定当	14.07	5.33	24.5	11.83	15.2	9.67	17.14	21	4.5
RSウイルス感染症	報告	4	-	-	-	-	-	4	-	-
	定当	0.44	-	-	-	-	-	1	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	-	-	-	3	2	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	1.5	0.5	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	7	4	5	5	2	1	10	2	-
	定当	0.78	2	1.25	1.25	0.67	0.5	2.5	1	-
感染性胃腸炎	報告	69	11	68	9	7	-	7	2	-
	定当	7.67	5.5	17	2.25	2.33	-	1.75	1	-
水痘	報告	15	1	6	3	5	2	7	-	-
	定当	1.67	0.5	1.5	0.75	1.67	1	1.75	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	4	-	2	-	2	-	-	-	-
	定当	0.44	-	0.5	-	0.67	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	1	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	0.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…













### <院内感染症の動向>

1月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.55人となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約86%となっています。

### 【1月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	28	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	24
	定当	2.55	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09	-	0.09	-	0.09	2.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 和歌山県感染症情報 (WIDR) 2014 年第 6 号

発行日：平成 26 年 2 月 13 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail [e0412003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0412003@pref.wakayama.lg.jp)

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。